



第 53 回研修コーディネート・ワークショップ報告書 「脱出ゲームで見つける自分の強み・相手の強み」 ～自分の強みは見えにくい。相手の強みも見つけにくい。～

人材育成は相手の「弱みを直す」よりも「良さや強みを引き伸ばす」方が効果的だと言われています。また、採用をする際にも相手の強みを見つけて評価することが求められます。ところが、多くの人は「弱み」は見つけられるのだけれども「強み」を見つけることに慣れていません。

一方、自分自身の強みも認識しにくいものです。自分では強みだと思っていたことと他人から強みだと指摘されたことが異なるというケースも少なくありません。そして、自分の成長のためにはやはり自分の真の強みを伸ばすことが求められるのです。

今回のワークは脱出ゲームを用いて「自分の強みは何か」「相手の強みは何か」について認識するとともに、人材を評価する技術を学ぶことを目的として設計・実施しました。

■ワークショップの流れ

STEP1：ミニセミナー「相手の強みを見つけるポイント」

ジョハリの窓をもとに他人を評価する「アセスメントの技術」について解説を行ない、どのような視点で評価をするのか、評価の際に起きやすい間違い（エラー）について学習していただきました。

STEP2：脱出ゲーム「ある 60 階からの脱出」

チームに分かれて脱出ゲームに挑戦していただきました。今回脱出ゲームを取り入れたのは、制限時間以内に役割分担を決め、メンバーが協力して成果を出していくというプロセスが自分や相手の特性をとらえる際に有効だからです。

今回は 3 チームで行いましたが、2 チームが見事に成功しました。



STEP3：ワークショップ「自分の強み・相手の強みを見つける」

脱出ゲームを行なったチーム内でまずは「自分の強み」がどのようなものなのかを考えていただき、その発表を行ないながら他のチームメンバーから見た「強みとして感じた部分」を共有しあいました。その中で、自分の感じている強みと相手を感じた強みに違いがあるのかどうかを確認しました。また、最後には「自分のキャッチフレーズを創る」というお題で、自分自身の強みを含めた自己紹介を発表していただきました。

■今回の脱出ゲームについて

はじめて会った参加者が1つのチームとなり、謎を解いて脱出することを目標に行動します。スタートしてから自己紹介を始めたチーム、まずは問題を確認したチーム、何をすれば良いのか悩んでしまったチームと様々な状況が見られました。

着席からゲーム開始まで時間があったのですが、その時間に自己紹介をするかどうか、参加者一人一人がどのような行動をするか。実はゲーム開始前からアセスメントは行われていました。「時間を有効に使う」「コミュニケーションを図る」「ルールを確認する」「状況を把握する」といったような特性が見られるのです。

ゲーム開始以降は「状況把握」「役割分担」「ルールの設定」「情報収集と共有」をいかに行うのかを観察することができます。また、問題は「論理的なもの」「創造的なもの」という2つの思考力を使うもので構成されていました。参加者がどちらの問題を得意としているのかを観ることもできますし、参加者自身も気がつくことができます。

ゲーム中にも状況が変わってきます。時間に制限がありますから、どのようにすれば問題を効率よく解けるのかを考えて行動しなければなりません。今回はある問題（古の部屋にあった問題）にチームの全員が一度に挑戦をされていましたが、それは効率的だったでしょうか。分担して解いた方が結果的には時間のロスが少ないように実は設計されていました。

最後の謎は「機転」「ストレス耐性」「チャレンジ精神」「柔軟性」「論理性」などあらゆる特性を見ることができるものでした。時間が残り少なくなると、情報を誤って捉える、考えが委縮する、あきらめる、といったことが起きやすくなります。

以上のようにそれぞれの場面において観察できる特性を設定しました。さらにチームビルディングの要素も加え、教育用に開発されたのが今回の脱出ゲームです。

※今回の脱出ゲームは「ビーイットコンサルティング」制作・提供のものです

■ 今回のワークについて（所感）

一つの目標に向かって短時間でチームワークを生み出して達成させていく。そのプロセスの中で自分がどのような行動をとったのか、相手はどうか、といった振り返りを行うことで、自分自身では普段気がつかない特性や強みを見つけることができます。参加者の方がゲーム中に試行錯誤しながら目標達成のために協力する姿はとても素晴らしいものでした。参加者の皆様には心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

第53回研修コーディネーター・ワークショップ 『脱出ゲームで見つける自分の強み・相手の強み』
開催日時： 2013年9月7日（土） 11:15～17:00
会場： アットビジネスセンター池袋 参加者： 14名（うち学生1名）
報告書作成：一般社団法人日本研修コーディネーター協会 飯島宗裕